

議会だより



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。

～“まち”の動きがよく分かる！～

南稜高校馬術部
全日本高等学校馬術競技大会出場おめでとう！



通年議会

第1回～第2回会議

第1～2回内容・・・ 2～3

一般質問・・・ 4～12

議員活動報告・・・ 13～17

条例の改廃5件・議案7件・契約3件・人事1件・報告9件を審議した。

1. 条例の一部改正

主なもの

- ・あさぎり町テレワーク施設条例の一部を改正する条例の制定
施設の構成に交流スペースの新設に伴い、多くの方に利用頂きたく価格設定をする。
- ・他の一部条例の改正は、上位法の改正によるもの。



薬師温泉に隣接したテレワーク施設（アロット）

2. 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

歳入・歳出それぞれ6,844万3千円を追加して、総額130億2,730万円とした。

主なもの

- ・保育所等物価高騰対策支援 162万円
- ・保健センター改修設計委託料 216万円
- ・農業経営発展支援事業補助金 958万円
- ・販路開拓強化事業補助金 1,260万円
- ・移住定住交流推進支援事業補助金 200万円
- ・農地等災害復旧費 300万円



審議内容の抜粋

健康推進課

問 コロナワクチン接種の、町としての今後の対応は。

答 個人の考えにおいての接種になる。

生活福祉課

問 重層的支援体制整備に伴う、移行準備で委託先への業務場所の提供に関して、今年度予算の計上はあるのか。

答 予算計上の予定は、現段階ない。4月より課内に席を配置し、業務いただいていく状況であるが、場所の提供は検討していく。

企画政策課

問 標準システムの改修や、使用料経費等の見直しは。

答 ガバメントクラウド利用料等の発生により、システムの運用経費は、年間6割程度増加する見直し。

問 電子計算機（パソコン）の更新はどのような対応にするのか。

答 各課全庁舎を調査し、一括して企画で購入し対応する。

財政課

問 町債の今後の運用計画は。

答 財政運営の基本方針を遵守し、有効財源の運用対策に努める。

農林振興課

問 経営発展支援事業の対象農家と次年度以降継続事業か。

答 49歳以下の認定新規就農者7人の内2名の農家が対象で、継続事業である。

問 皆越地区の災害復旧への対応については。

答 施工にあたり受益者への現地説明と協議を行い、工法を決める。

教育課

問 社会体育施設の老朽化や修繕等に伴う、今後の維持管理は。

答 優先順位をつけ、危険度の高い方から予算立て取り組む。



3. 工事請負契約

- デジタル同法無線システム屋外拡声子局整備工事請負契約
1億6,610万円
- あさざり中学校管理棟他改修工事請負契約 1億3,970万円
- 町道立野線災害復旧工事契約 7,120万円



中学校管理棟

4. 人事案件

- 同意1号 あさざり町教育委員として、伊勢 啓史朗氏（岡原地区）

同意

第2回会議（7月1日開催）

審議内訳、議案1件、契約1件、報告1件を審議した。

全議案
全会一致で
可決

1. 令和7年度一般会計補正予算（第2号）について

歳入・歳出それぞれ456万2千円を追加して
総額130億3,186万円とした。

主なもの

- 伊賀川改修工事設計委託料 370万円

2. 工事請負契約

- 町道黒田古町線歩道整備工事 5,335万円



古町からおかどめ幸福駅へと続く

人口減少対策に歯止めを



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

かとう ひろし
加藤 弘 議員



問

今年度の小、中学校の卒業式及び入学式に出席して、どのように感じたか。課題対策は。

町長

少子化が加速していると感じた。自然減対策として、「子育て支援の拡充」「結婚・出産の環境整備」等の取り組みが必要と考える。社会対策として、若者、そして女性にとって魅力的な地域環境の整備、移住定住の促進を更に拡充していく。

教育長

今年の5地区の入学人数が合計99人で、今後も減少傾向は続き、令和13年度の小学校入学者数は、52人と予想される。また、令和12年度からは3地区の小学校では、入学者数は1桁となる予想。今後、どんなふうに変化していくかわからない状況なので、しっかりと見定めながら進めていく。

問

球磨人吉地域から、熊本方面へ



上小学校

通じるルートが、国道219号線と、高速道路があるが、国道219号線は5年間近く通行止めである。高速道路は、事故、大雨、積雪、暴風の際通行止めが発生している。まさに、陸の孤島である。主要地方道宮原五木線を軸とした、熊本方面へ通じる道路の整備のため、郡市一体となって「期成会を立ち上げて」取り組んではどうか。

町長

郡市の地域振興に係る期成会なので、郡市一緒になって頑張っていきたいという気持ちはある。今の段階では、五木村の振興計画が主導しているが、積極的に応援して前面に出ていきたい。



五木宮原線

問

「新幹線のルート」について、宮崎県の調査結果では「日豊本線ルート」に加え

新たに「鹿児島中央先行ルート」と「新八代ルート」が加わり3ルートとなっている。「新八代ル

町長

ト（人吉ルート）」の実現に向けて、期成会を早急に立ち上げて取り組むため、町長が先導的な役となつて進めて欲しいが、どのように思うか。

少子化対策については、外部から人を呼び込むことが重要と感じている。移住定住対策の強化は喫緊の対策だと感じている。期成会の立ち上げについては、機運が盛り上がりつつあることを促しながら、町村会の中でも発言等をしていく。



現在の人吉駅



高齢者の補聴器助成は

みなごし
皆越 てる子 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



おいでカフェの様子

問

高齢者の聴力低下は、認知症のリスクだけではなく、外出や地域交流の減少につながる可能性がある。高齢者が社会参加を継続でき、住み慣れた地域で自分らしく生活し続けることができるようにという思いがあるが、町民からの要望や問い合わせは。

高齢福祉課長

補助制度の要望の声はあまり聞いていない。

問

県内でもこの事業が広まりつつあると思うが、担当課の現状把握は。

高齢福祉課長

県内5市町村実施。現状の実態把握や他自治体

地域食堂「おいでカフェ」については。

問

立ち上げまでは打ち合わせを令和5年12月から令和6年10月まで6回行い、視察も令和4年から令和6年まで3回実施した。初回は、令和6年10月20日に岡原保健センターでオープンし、現在まで7回実施している。高校生以下と75歳以上は無料、その

での、効果・検証踏まえ事業実施の検討をしたいと考えている。

町長

町内の高齢者にも、聞こえづらい方が多く存在することは実感している。県内では、難聴を予防・軽減する取り組みを実施している自治体があることから事業の必要性について考えている。

生活福祉課長

ほかには2000円の食事で開始したが、物価高騰で3000円に値上げしている。そこで町の支援として、まちづくり運動支援助成事業は活用できないか。

企画政策課長

食糧費に関しては使途が限られている。他の経費等であれば十分活用できる。

副町長

こども食堂の設置は町も必要であると考えていた事業であり、必要な支援を行っていく。



「暮らしの補助・助成ガイド」の冊子を作れないか



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

いわもと
岩本

やすのり
恭典 議員



問 各課で行っている補助金や助成事業は、町民にどのような周知しているか。

財政課長

ホームページや広報紙を通じて周知し、事業の性質に応じて対象者への個別通知など最適な手法を選択している。

問 助成制度を知らず申請しなかった町民の声は届いているか。

町長

転入者には説明を行っているが、申請できなかったという声は特に聞いている。

問 高齢者、外国人障害者等、多様な背景を持つ人々への工夫はされているか。

企画政策課長

現状の把握は不十分だ

が、ホームページ改善を進め、誰もが情報を得やすい環境整備に努めたい。

問 補助・助成事業について各課間での情報共有はされているか。

企画政策課長

全ては把握していないが、おおよその担当課は分かるため、窓口で案内し対応している。

問 町民の利便性や行政の効率化のため、申請が必要な補助・助成事業をまとめた「暮らしのガイドブック」の作成が有効と考えるが費用対効果も踏まえて町として作成・配布を検討してはどうか。

町長

補助事業の把握や案内の課題は認識しており課を超えた情報共有も重要と考えている。町民の

利便性向上のため、ガイドブック作成について庁内で検討させていただきたい。



南関町が行う支援をまとめたガイドブック

問 駅前再開発構想の進捗状況と、再開発が進まない主な要因は。

商工観光課長

構想は令和4年度に見直され、官民連携の

LABV方式(※)による事業推進を準備中で、進まない要因は、コロナ禍や豪雨災害、公共施設環境の変化などによる影響と認識している。

問 遊休施設を活用し企業と連携する24時間営業のスポーツジム等を、財政負担を抑えた地域活性化策として調査・検討を考えては。

町長

ジム誘致などの官民連携については、立地や活用可能な施設の状況を踏まえ勉強してみたい。

※LABV方式とは

行政と民間事業者が共同で事業体(共同出資会社など)を組成し、計画立案から施設整備、運営までを一体的に行う官民連携手法で、地域の持続可能なまちづくりを目指す取り組み。



急激な人口減少と 地方創生の現状認識は

なんば あやみ
難波 文美 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

10年前の消滅可能性自治体の推計は全国1,729自治体の中で896であったが、今回は744自治体に減少している。町内の人口推移と外国人転入者の状況は。

町民課長

10年前の平成28年は1万5,944人。令和2年は1万5,135人。令和7年は1万3,887人であり、10年間で2,057人減少している。少子化は年々加速しているが、老年人口は10年間ほぼ同じ人口で推移している。外国人の転入は昨年度で男女あわせて60人である。

問

国・県・町全てにおいて、移住定住を含めた経済的支援を行い、貧困対策の取り組みとして地域食堂などもあるが、全国のこども食堂の数は1万867カ所

と公立中学校9,033校を上回っている。これらの対策が現実的な人口増加に寄与しているのか疑問に思う。

町長

現状は依然として人口減少と少子化が深刻化しており、全国的にも目立った成果が上がっていないとは言えない。自治体は、住民の福祉増進と生活向上を目指して地域社会の課題解決に貢献する事が重要だと考えている。

岡留公園の南側東屋の現状と課題について

問

リニューアルした11種類の遊具『ハッピーアドベンチャー』の費用総額は。

建設課長

遊具の更新費用は約4,980万円である。



新たに設置された遊具

問

バーベキューのできる東屋はテーブルやベンチ、雨樋などかなり劣化しているが今後整備の予定はあるのか。

建設課長

東屋は平成7年の公園開園と同時に設置され33年が経過しているため柱等の劣化もある。建物とテーブル等については経年劣化を防ぐための塗装を考えている。また



老朽化した東屋

雨樋の壊れている部分は早急に改善をする。ベンチについては、板を張り替えて応急処置をするのか、更新をするのか検討したい。

その他の質問

- 人吉球磨定住自立圏構想について
- 公式ホームページの充実に向けて

農業振興について



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

とよなが
豊永

きいち
喜一 議員



問

町長は令和7年
度施政方針の中

で、町の基幹産業である農業の課題のひとつである労働力不足を補う組織の支援とともに、今後を見据えた農畜産業のスマート農業を推進するためAIロボットICT技術等を活用したスマート農業機械の導入に要する経費の支援を行うことで、町内の農業の維持活性化及び効率化を図っていくことが必要であると言われている。町長の考えは。

町長

農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化後継者不足、耕作放棄地増加といった課題を抱えながら、さらに円安の影響を受け資機材の高騰



大幅な作付面積増が見込まれる主食用米

エネルギー高など厳しい状況にある。農地の担い手の確保については、農業の生産性や効率性を向上させる技術の導入の支援や農作業受託組織の育成・拡充などを進め、その確保に取り組んでいくことが重要だと考えている。

問

米の需給問題
は、令和の米騒動

として広く注目を集めている。供給面では長年にわたる減反政策、気候変動や自然災害の頻発、農業従事者の高齢化による労働力不足が生産に大きな影響を及ぼしている。需要面においては、消費者の食生活の多様化や人口減少に加え、インバウンド需要の増加が需給バランスを一層複雑化させている。その様な中、農業政策が重大な岐路に立っていると思われる。米の価格は30年ぶりに上がったが、町内の主食用作付面積の動向は。

農林振興課長

町内の主食用米作付面積は、直近3か年を比較

すると令和4年度838ha、令和5年度810haで前年から28ha減、令和6年度808haで前年から2ha減で推移。令和7年度は米価の著しい値上がりを受け、937haで前年から128ha増での作付計画となっている。令和7年度の作付面積は10年前の平成28年度の作付面積と同じとなっている。



その他の質問

●観光振興について



はしもと まこと
橋本 誠 議員

健幸ポイント事業の検証は



2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

問

平成26年度から取り組み、成果・検証はどういう形で実施しているのか。

健康推進課長

AIを用いた分析を行っている。運動教室においては、体力やBMI等の身体的状況に加え精神やストレス、健康度にも改善が見られる。

問

若い世代が年取った時に医療費がないようにすることが本来の考え方ではないのか。

健康推進課長

現在40から50代をターゲットとした短期間の教室を実施している。



商工業推進補助金について

問

商工振興補助金は7年前から始めた事業であり一度使用した事業所は使えない現状である。本場に必要ない事業所に対して、エールの意味で新たな補助金が必要ではないか。

商工観光課長

農業振興補助金制度は、5年間経過すると再度利用出来る仕組みで運用がなされており、商工観光課においても運用については再度検討していきたい。

町長

使い勝手はよかったが、一度使ったら申請出来ないという縛りがあったようなので、改正すべきところはしていきたい。

気候変動に伴う安全管理対応は

問

学校教育の現場及び学校外での周知対応は。

教育課長

まず水分の補給、帽子の着用、昼休みの外遊び等においては、放送や掲示などで注意喚起を行っている。

教育長

子供自身が自己管理が出来るように指導している。

問

高齢者への配慮は。

高齢福祉課長

地域のサロンやオレンジカフェなどの場で熱中症予防に関する講話を随時実施している。

問

涼み処という旗があれば高齢者の人が酷暑になった時に涼みにいけるのではないのか。

町長

事業所等の協力があったて、ある程度件数が増えると子供110番ではないが、のぼり旗の作成にもつながっていくのではないかと考えている。



その他の質問

●事業承継の取り組み方について

国民健康保険の保険者変更は



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

こまつ 小松 英一 議員



問

現在の市町村単位の保険者を熊本県に統一する理由は何か。

健康推進課長

国民皆保険制度を堅持するために国保制度が改正され、市町村単位の個別運営から、都道府県と市町村との共同運営に変更された。これにより県内のどの市町村に住んでいても同じ保険料(税)率になる。



問

現在、自治体独自の国保税軽減対策がなされているが、県に統一されると自治体の支援ができなくなり、国保加入者の税負担が増えることになると思われるが。

税務課長

あさぎり町ではこれまで国保の基金から繰入れをして、加入者の税負担を少なくしていたが、県が定める標準保険税率に統一されることになるので、自治体独自の軽減ができなくなり、県内統一



問

の基準に基づく公平な額が設定されることになると思われる。

税率は同じにするということだが、市町村ごとに一人当たりの医療費は異なっていて、あさぎり町は県平均より若干高くなっている。また、県内の最高額と最低額の自治体と比較すると、およそ2倍の開きがある。同じ保険税を払うということに対して公平感が保たれるのか。

健康推進課長

医療費についての詳細な分析等を行っているが、医療費が少ないところは村単位の自治体で医療費が最も多い自治体は近年同じ自治体である。

問

県南、県北地域と熊本市圏では医療機関数に大きな開きがある。同じ県内に住んでいるが、高度医療を受けるための移動費用やアクセス時間も異なり受診の機会を制限、または選択肢を狭めるとは考えられないか。

健康推進課長

人吉球磨地域では、ハイリスク妊婦者への交通費の助成を行っている現状もあり、地域全体の病院数の少なさで不便性は感じている。

その他の質問

● 財政運営について



ピーファス 有害物質PFASの認識は

かがやま みつこ
加賀山 瑞津子 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

令和3年3月に

「食の安全教育」の

中で、ポストハーベスト

農薬汚染やグリホサート

系除草剤等の長期的な健

康への影響リスクについ

て質問した。ダイオキ

シンやPM2.5等、時

代と共に新しい有害物質

の名前も聞かれるように

なった。今PFAS（有

機フッ素化合物）による

水質汚染の危険性につい

て県民の意識が高まって

いるが、町の基本的な認

識は。

町長

昨年11月県北の産業廃

棄物最終処分場の敷地内

から国の暫定標準値を超

えたPFASが検出され

た。その報道を受け町内

の各配水区の採水検査を

実施、全ての箇所を検出

がない事を確認し県にも

報告した。

問

「永遠の化学物

質・発がん性」の

見出しで新聞にも大きく

報道されている。特に影

響を受けやすい子供や妊

婦に配慮した今後の取り

組みの考えは。

町長

現状では情報・証拠も

不十分な為、原因として

判断し対策する事は難し

い。



問

田畑・用水路や

生活井戸など生活

環境の場面での説明は重

要、町として科学的評価

住民との情報の共有の体

制整備をどう考えていく

のか。

町長

数値的なものがまだ定

められておらず、国にお

いても環境省・厚労省等

多岐にわたっている。国・

県の進捗を見ながら適切

に従っていききたい。

**より多様な世代が参加で
きる防災組織づくりを**

問

若者が気軽に参

画できる体験型の

防災イベント（防災キャ

ンプ・防災運動会・避難

所運営訓練）についてど

う考えるか。

町長

少子高齢化が進む中

自分で避難できない方の

助力は若い人にかかって

くる。防災に対する知識

や意識を若い人にも一緒

に学んで欲しい。

問

8月31日（日）

に防災士会主催の

イベントがあるが町の関

わりは。

総務課長

防災フェスティバルで

は、町として防災表彰

防災学習イベントについ

て防災士会と内容を調整

中。



楽しく学べる防災運動会



消防団の在り方を検討する為のアンケート調査の実施を



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

みぞぐち
溝口

みねお
峰男 議員



問

消防団の活動は
入退団式、夜警

操法大会、災害対応や火
事、行方不明者の搜索
危険個所調査等々、年々
出動回数も多くなってい
る。この事が新入団員確
保が難しくなっている一
つの要因でもある。消防
団の在り方について団員
の声を聴き魅力と誇りが
持てる消防団となるよう
にしてほしい。また出動
報酬も消防庁長官通達の
標準額より低い、費用弁
償も他市町村より低い。
見直すべきではないか。

総務課長

団員の意見を反映させ
る上では、アンケート調
査も有効な手段だと思っ
たので団長はじめ幹部会
で協議する。消防団活動
においても改善する方向
で取り組んでいきたい。

町長

団員が減少していく中
では、待遇の改善もして
いかねば団員も増えない
と思うので検討する。



操法大会の様子

永里線（上南）の床下浸
水抜本的対策について

問

上南地区の永里
線の両側家屋の床

下浸水は、上部からの雨
水が永里線に集中し、両
側の排水溝が機能しなく
なるために発生するも
の。早急に対策を講じる
べきではないか。

建設課長

令和3年に横断側溝の
設置を検討したが設置に
は至っていない。まず流
域調査を行い分散排水の
検討が必要と考えてい
る。住民の方への意見集
約も状況により実施して
いく。



オーバーフローする排水溝

がん予防のための健診率
向上と健診料金の軽減を

問

がん予防のため
の健康診断率が低

い。なおかつ精密検査を
受けるように指摘されて
も受診率が上がらない。

医療費の削減につなげる
ためにも健診料金の負担
を軽減できないか。

町長

受診率を上げるために
も医療連携会議等で協議
を進めていきたい。

健康推進課長

受診率が低い要因は
若い世代の受診が伸びて
いない。更なる保健指導
の取り組みが必要である
と思っている。



その他の質問

●食品ロス削減と3010
運動の推進について



中部ふるさと会

令和7年4月20日

TKPガーデンシティPREMIUM
名古屋ルートセンタータワー
(16階)にて

第18回「あさぎり町中部ふるさと会の集い」が盛大に開催された。
参加者は来賓を含め85名。

旧免田出身の愛甲真琴会長のあいさつに続き、土肥副町長が来賓として町の状況報告を兼ねた挨拶があった。

企画政策課からは、ふるさと納税についても説明も行った。

永井副議長の乾杯に続き懇親会では、あさぎり町観光ボランティアガイドの上杉芳野さんによる「球磨弁まつ出しのトークとダンス等」が披露され大いに盛り上がった。

中部ふるさと会設立にご尽力いただいた杉下潤二（名城大学名誉教授）先生も出席されていた。

米寿迎えられたとか、これからも元気で穏やかにお過ごし下さるようお祈り申し上げます。

ふるさと会 ～中部・関西～



関西ふるさと会

令和7年5月25日

錦城閣（大阪キャッスルホテル3F）にて

第12回「あさぎり町関西会の集い」が盛大に開催された。
参加者は来賓を含め78名。

旧深田出身の藤原理一郎会長のあいさつに続き、北口町長県大阪事務所の池永淳一所長が来賓として町と県の状況報告を兼ねた挨拶があった。

商工観光課からは、ふるさと納税についても説明を行った。

今年から地区ごとの懇親会を廃止し、「あさぎり町ふるさと関西会」に統一し、毎年5月の第4日曜日に開催することに決定した。

終始賑やかな中で親睦を深められた。

両ふるさと会から寄付金をいただきました。子どもたちの図書購入費などに大切にに使わせていただきます。

正副議長研修会



国会議員への要望



正副議長研修会

5月27日、令和7年度全国町村会議長・副議長研修会（東京国際フォーラムにおいて）

目的は、「本年から平成7年の阪神・淡路大震災から30年の節目であり、例年以上に国と地方が一丸となつて防災・減災対策の機運を高める必要があることから、研修を実施し、それぞれの議会が国民の生命・財産を守るための取組を強化することを目指す。」である。

研修テーマ・講師は後述の通りである。

- 「地方公共団体における防災・減災及び災害時の役割と統合防災情報システムの活用」
内閣府政策統括官 高橋 謙司氏
- 「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題」
明治大学名誉教授 青山 侑氏
- 「災害と議会・議員の役割」
同志社大学名誉教授 新川 達郎氏

議会として防災・減災への取組の強化を推進していきたい。

議員現地調査



令和7年度実施間伐箇所（千望）



皆越農業用水復旧現場



皆越立野線崩落箇所

議員研修報告



● PPP/PFI推進のすすめ ●

(株) 福山コンサルタント新領域推進室技師長 山本英治氏を講師として受講した。あさぎり町においても、昭和 56 年（新耐震基準）以前に建築された公共施設が数多く存在するため統廃合（縮充）による「小さな拠点」形成を進める必要がある。そのためには公共施設の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化を図るものとして PPP/PFI が提唱された。

今後、官民連携手法の導入可能性について調査する事にした。



内閣府公民連携専門家
山本英治 氏



● ゲートキーパー養成講座 ●

7 月 1 日ゲートキーパー養成講座を全議員で受講。

ゲートキーパーとは資格の要らない命の門番。講話で、令和 5 年度全国交通事故死亡者数 2,600 人、自殺による死亡者数 21,800 人(交通事故の 8.3 倍)と驚くべき報告があった。大規模災害後、自殺者が増える状況がある事や普段と違うと感じたら、声かけをして話を聴き、関係機関に繋ぎ見守る事で自殺予防に繋がる等の話があった。

自殺 0 を目指して、要因となる「うつ・依存症・経済問題」についても議員として、しっかりと対策に取り組んでいく必要性を再確認した研修であった。



話の聴き方「かきくけこ」

か・・・確認
き・・・共感
く・・・繰り返す
け・・・傾聴
こ・・・肯定



講師の榎垣俊輔 氏

各種団体との意見交換会を行っています

地方自治の未来を作る調査特別委員会では、開かれた議会を目指し、町民と意見交換会を行っています。

5月20日 民生委員 7名、6月5日 須恵・深田地区住民 7名、6月17日 南稜高校教職員 9名、7月3日 中学校 PTA 役員 7名と意見交換会を行いました。多様な意見を町政に反映していきたいと思いますので、興味・関心がある方は議会事務局までお尋ねください。

民生委員



須恵・深田地区



南稜高校



あさぎり中学校 PTA



議会だよりについて
アンケートをお願いします。



5月～7月活動内容一覧

月	日	行 事 名	参 加 者
5月	1日	議員懇談会・全員協議会、第7回公共施設マネジメント調査特別委員会	議員
	10日	令和7年あさぎり町自衛隊家族会総会（春日会館）	議長
	14日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	19日	九州治水期成同盟連合会第68回定期総会（人吉市）	議長
	20日	意見交換会（民生委員）	議員
	21日	全員協議会	議員
	23日	総務建設経済常任委員会、防災会議（文化ホール） あさぎり町商工会総会（ポッポ一館） 上球磨正副議長会総会（水上村）	議員
	25日	あさぎり町ふるさと関西会（大阪府）	議長、議員2名
	27日～28日	令和7年度全国町村議会議長・副議長研修（東京都）	正副議長
6月	2日	議員懇談会・全員協議会	議員
	3日	議会運営委員会 令和7年度町村議会議長研修会・臨時総会	議員 議長
	5日	意見交換会（須恵地区住民他）	議員
	9日	令和6年度一般国道445号道路整備促進期成会会計監査	議長
	10日～13日	6月定例会	議員
	10日	議会運営委員会、全員協議会、 総務建設経済常任委員会、厚生文教常任委員会	議員
	13日	議会運営委員会、全員協議会、広報調査特別委員会	議員
	17日	原水爆禁止要請行動 総務建設経済常任委員会、意見交換会（南稜高校）	議長 議員
	23日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	24日	織月会（熊本市）	議長
	25日	農事組合法人「須恵かちやあ」第1回総会（文化ホール）	議長
7月	1日	議員懇談会・全員協議会、第8回公共施設マネジメント調査特別委員会 第2回会議	議員
	3日	意見交換会（あさぎり中PTA）	議員
	4日	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
	10日	令和7年度川辺川ダム建設促進協議会総会・令和7年度三期成会合同定期総会（錦町）	議長
	11日	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
	14日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	18日	全員協議会、第3回会議 あさぎり葉草合同会社設立10周年記念式典（ポッポ一館）	議員 議長
	22日	町村議会正副委員長研修会（オンライン） 第9回公共施設マネジメント調査特別委員会	議員
	23日	県町村議会議長会幹事会（熊本市）	議長
	24日	核兵器禁止、非核平和の諸行動対応	議長
	25日	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
	28日	上球磨正副議長会（多良木町）	正副議長
	31日	厚生文教常任委員会	議員

町民の声

聞かせて

このコーナーは町民の皆さまの日頃の活動状況や議会・町に関する要望等を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いします。

上（神殿原）椎葉 孝治さん

私は、自動車整備士として働きながら、妻と子ども2人の4人家族で暮らしています。

共働きのため、毎日が目まぐるしく過ぎていく中、子供たちの成長ぶりにはとても驚かされています。

子供が大きくなるにつれ、部活動や発表会などの行事も増えていくだろうと思います。

自分が小学生だった頃は、高学年でやりたいクラブに入り、授業が終わると毎日クラブで汗を流して帰るのが普通でしたが、最近では学校の部活動ではなく本格的なクラブチームに入っている子供をよく見かけます。

親の仕事が休みの日でも、遠い場所での練習試合などのために、遠征の送迎をしている夫婦もたくさんいます。どこの親も子供を応援し見守る事を選び、共働きしながらいろんな行事をこなし、休みもなくなります。

人口減少や子供の減少により、地域の行事などの見直しも必要な時代ではないでしょうか。昔からの伝統を大切に思い、繋げたいという気持ちは分かっているのですが、今の時代に子育てをしている共働き世代に、休日に行う体育祭やビーチバレー大会などの行事についてアンケートを取って、意見を聞いてほしいと思っています。

子供たちのためにも、あさぎり町が生活しやすい町となるような対策をぜひお願いします。



編集後記



暴れん坊球磨川は、7月4日で5年を迎えた。

今年は、米の価格が高騰した「令和の米騒動」主食の存在を痛感した人は多い。

「民以食为天（人にとって食べることは最も大切）」とのことわざがある。もっと早く低米価に苦しむ稲作農家に向き合うべきだった。すでに高齢化と担い手不足が進み生産基盤の維持が厳しい状況である。

住民が願うのは、食卓の明日であり、食料安全保障の確保へ、農業・農村にやさしい政治を目指す。

(森岡 勉)

編集発行者

議長 小見田 和行

広報調査特別委員会

委員長 森岡 勉

副委員長 加賀山瑞津子

委員 難波 文美

委員 豊永 喜一

委員 山口 和幸

委員 溝口 峰男

